令和５年度事業計画について

国内外に大きな影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症は、日本に上陸して３年が経過しました。現在も収束には至っていないものの、政府はこの５月から感染症法上の位置付けを現在の「２類相当」から、季節性インフルエンザと同じ「５類」に引き下げる方針を決定したことで、観光需要の更なる回復が見込まれています。

また、昨年 10 月には水際対策の緩和として、入国者数の上限が撤廃となり、海外からの個人旅行客の入国が解禁され、円安を背景に現在も多くの外国人旅行者が全国各地を来訪しています。観光庁は 2025 年の目標として、コロナ前水準（2019 年）への回復、訪日外国人旅行消費額５兆円の早期達成などを掲げています。

令和５年度は、イベントや大会などは特に制限のない「コロナ前」の状態に戻りますが、この３年間のコロナ禍により人々の価値観や行動様式が変化してきていることを踏まえ、「ウィズコロナ時代」に対応した誘客の取組みが重要になります。

常に最新の情報を提供するため、ＳＮＳを中心とした情報発信力を強化し、動画などのデジタル素材を活用したプロモーションに取組みます。さらに、自然や歴史、文化など、松本の観光資源を活用した着地型の旅行商品を国内・海外に向けて造成し、域内全体の回遊や宿泊などへの経済波及効果につながるよう、目に見える成果をあげるべく取組んでまいります。

各事業を進めるとともに、協会の組織体制の見直しの方向性が具体化された「松本市の観光振興を推進する官民連携のあり方と松本観光コンベンション協会の組織見直しに関する提言」が、「あり方検討会議」から提出されたことを受け、市との役割分担の明確化や、必要な専門人材の確保・育成、財源の確保にも取組んでまいります。

【国内誘客事業】

「国宝松本城ナイトツアー」や「ロケ地巡りツアー」、「まち歩きツアー」など、一昨年から本格的に取組んでいる着地型旅行商品をさらに磨き上げるとともに、新たに市民向けの「善光寺街道歩きツアー」などの旅行商品を造成します。また、新たな取組みとして国内旅行需要で年々増加している「ひとり旅需要」を発掘するため、首都圏中心に商品造成やプロモーションを実施します。

長野県学習旅行誘致推進協議会松本支部の事務局を当協会が担っていることから、松本全域に誘致活動を進めるため、デジタルを活用したプロモーションを実施します。

市からの受託事業である、信州まつもと空港の就航先都市誘客促進事業については、営業・宣伝活動のさらなる充実を図り、空路を活用した観光誘客に引き続き取組みます。また、デジタルを活用した広告配信等各種メディアを通じた誘客促進についても積極的に進めます。

【海外誘客事業】

過去２年間にモニターツアーとして実施した「体験ツアー」を商品化し、販売するための

広告宣伝や販売実績に応じた内容の変更、磨き上げを行います。
　さらに、令和４年度に開設した外国人専門公式ユーチューブチャンネル【Ｃｏｍｅ　Ｔｏ　Ｍａｔｓｕｍｏｔｏ】の特異性を生かすため、本年度はコンテンツの充実に取組むこととします。そのために、松本地域の外国籍住民を活用しながら、松本の魅力的な観光地やイベントなどの動画コンテンツを作成し、海外に広く発信します。また、松本を訪れる外国人旅行者に対し、来訪の目的などの聞き取りを行い、その様子を撮影して新しいプロモーションにつなげます。

【情報発信事業】
　各種ＳＮＳを活用し、松本の様々な観光地の情報はもちろんのこと、イベントや旬の情報、人気の施設、店舗等の情報発信を行います。媒体ごとの特徴とターゲットの分析を行い、影響力を持った情報発信拠点として機能するよう工夫・改善に取組みます。

【コンベンション事業】
　コロナ禍を契機に開催されるようになった集合型・配信サービス併用型による学会等は、以前と比べて現地参加者は増加傾向にあるものの、新しい会議様式として継続して実施されているため、配信に係る経費の支援など、主催者に寄り添った支援体制を引き続き強化します。
　また、セールス活動や、ワークショップなどを通した新規学会等の誘致活動を行うとともに、市内コンベンション施設と円滑なコミュニケーションを図り、主催者のニーズに応えた会場を提案します。

【ロケ誘致支援事業】
　昨年度松本市内でロケを実施した映画「サイド バイ サイド 隣にいる人」や、ドラマ「グレースの履歴」のほか、「日本アカデミー賞」の６部門で優秀賞を受賞した昨年公開の映画「流浪の月」などを積極的に活用し、「ロケ地松本」の認知度向上を図ります。
　また、映画、テレビドラマ、ＣＭ、ネット配信動画等のロケーション撮影の誘致や支援活動を行います。

Ⅰ　国内誘客事業

１　国内着地型商品推進事業　≪新規≫

⑴　着地型旅行商品造成事業
　過去２年間に実施した「国宝松本城ナイトツアー」や「ロケ地巡りツアー」、「まち歩きツアー」など、着地型旅行商品をさらに磨き上げるとともに、新たに市民向けの「善光寺街道歩きツアー」の造成及び商品開発を行います。

⑵　ソロ市場向けプロモーション事業
　国内旅行需要で年々増加している「ひとり旅需要」を吸収するため、商品造成やプ

ロモーションを首都圏中心に実施します。

２　国内誘客関連事業

⑴　国内誘客情報発信

着地型旅行を実施した際に、その様子を撮影し、プロモーション動画として活用します。また、国内誘客公式ユーチューブチャンネルを立ち上げ、各種動画を掲載します。

⑵　観光宣伝素材整備事業

市内各所の魅力ある観光資源を生かしたポスター、観光グッズ等を作製し、誘客宣伝イベント等に活用します。

⑶　その他プロモーション事業

ア　首都圏・中京圏等での営業強化

多くの人口を抱え、松本への来訪が最も多い関東方面・中京方面や中部横断道でつながった静岡等への営業を強化するとともに、誘客につながる効果的な宣伝を行います。

イ　観光庁・県等主催の観光説明会

大都市圏はじめ全国各地での観光説明会や旅行会社との商品造成商談会に会員とともに参加し、旅行商品の造成促進に取組みます。

ウ　姉妹都市藤沢市と連携した観光ＰＲ

姉妹都市藤沢市との観光交流や連携した観光ＰＲを実施し、湘南地域からの誘客活動を進めます。

エ　沖縄チャーター便にあわせた現地商談会

長野県が進める沖縄チャーター便にあわせた現地での旅行会社との商品造成商談会に参加し、松本への誘客に努めます。

３　松本の宿発信事業

松本市内宿泊施設の地域、価格帯、温泉の有無、ペットの可否など、多様化するニーズに合わせた宿泊ガイド「松本の宿」を作成します。

⑴　パンフレットの作成

⑵　ＷＥＢサイトの運営

４　地域の魅力発信事業

協会加盟の団体会員が、地域特性を生かしながら取組む誘客宣伝事業やイベント事業のうち、松本市への誘客及び経済効果の高い事業に対して、誘客宣伝事業支援金（対象事業費の２分の１、上限 30 万円）を交付します。

５　スポーツイベント事業　≪新規（スポーツコミッション事業から移管）≫

松本地域の自然環境を活用したアウトドアスポーツに関連するイベント等の企画運営を行います。また、県外者が多数参加するスポーツ大会等の開催を支援し、実行委員会に参画します。

⑴　松本・安曇野サイクルロゲイニング 2023　≪共催事業≫

昨年度に引き続き、安曇野市と連携し、自転車を利用した２日間のイベントを実施

します。各自のペースで、自由に両市の観光スポットなどを巡ります。

ア　日程

10 月 21 日（土)、22 日（日）

イ　内容

松本・安曇野両市の美術館・博物館、観光・歴史スポット、グルメスポットなどをチェックポイントとして設定し、その場所で自転車と一緒に写真を撮ることによってそれぞれに付与されたポイントを獲得するものです。

ウ　募集人員

各日 100 名　合計 200 名

⑵　各種スポーツ大会支援

大会・イベント名	日程	主催団体等	参加人数
松本探訪ロゲイニング 「松本楽都ロゲイニング」	4/8	県オリエンテーリング協会	150 名
アルプスあづみのセンチュリーライド 2023≪桜≫	4/22～23	実行委員会	2,000 名
アルプスあづみのセンチュリーライド 2023≪緑≫	5/20～21	実行委員会	2,000 名
【松本ヒルクライム】 ツール・ド・美ヶ原高原 自転車レース大会	6/25	実行委員会	1,500 名
【松本ヒルクライム】 乗鞍ヒルクライム	8/27	実行委員会	4,000 名
松本探訪ロゲイニング 「松本ＳＡＫＥロゲイニング」	9/9	県オリエンテーリング協会	100 名
松本マラソン	11 月	実行委員会	10,000 名

6　学習旅行誘客事業（長野県学習旅行誘致推進協議会松本支部事業）

令和４年度から、長野県学習旅行誘致推進協議会松本支部の事務局を当協会が担うことになりました。本年度は、さらに全市的な誘客を進めるため、デジタルを活用したプロモーションを中心とした誘致活動を協議会として進めます。

会員は随時募集中ですので、ぜひご参画ください。

⑴　体験コンテンツ拡充

昨年度作成した体験事業パンフレット「わくわく体験学習」に新しい体験コンテンツを加えます。また、今秋オープンする松本市立博物館の体験プログラム等も積極的に取り入れます。

⑵　動画作成　**≪新規≫**

会員施設の動画を作成し、学習協松本支部公式ユーチューブチャンネルを立ち上げ、掲載します。

⑶　長野県学習旅行誘致商談会参加

東京、大阪で開催される長野県主催の商談会に参加します。

7　就航先都市誘客促進事業（受託事業）

信州まつもと空港の就航先都市(福岡、札幌、大阪、神戸)において、長野県及び信州まつもと空港地元利用促進協議会と連携し、信州まつもと空港を活用した松本市内への観光誘客を図ります。

また、昨年度に引き続き夏ダイヤ通期運航となる丘珠線と複便化している神戸線の周知や、利用促進のための営業・宣伝活動を強化し、年間を通じた誘客促進に積極的に取組みます。

⑴　観光説明会、エージェントセールス

ア　福岡　旅行会社等を対象とした観光説明会の開催

イ　札幌　旅行会社等を対象としたエージェントセールスの実施

⑵　就航先営業

ア　福岡営業　　（年４回程度）

イ　札幌営業　　（年４回程度）

ウ　大阪・神戸営業　（年４回程度）

⑶　助成事業

ア　広告作成費助成金

信州まつもと空港発着定期便を利用し、松本市内宿泊施設への宿泊を１泊以上含む旅行商品を造成し、広報した旅行会社に対する助成

(ｱ)　助成内容　　１件当たり５万円～10 万円

(ｲ)　助成対象期間　４月１日～３月 31 日（通年）

イ　空港利用送客助成金

信州まつもと空港発着定期便を利用し、松本市内宿泊施設への宿泊を１泊以上含む旅行商品を造成し、販売した旅行会社に対する利用実績に応じた助成

(ｱ)　助成内容

・ 福岡線、新千歳線、大阪（伊丹）線　　片道 1,500 円、往復 3,000 円

・ 丘珠線、神戸線　　片道 2,500 円、往復 5,000 円

(ｲ)　助成対象期間

・ 福岡線、新千歳線　　４月１日～６月 30 日、 11 月１日～３月 31 日

・ 神戸線　　４月１日～３月 31 日（通年）

・ 大阪（伊丹）線、丘珠線　　運航期間中

ウ　空港利用レンタカー助成金

信州まつもと空港到着の定期便を利用し、レンタカーを含む旅行商品を販売した旅行代理店等に対する利用実績に応じた助成

(ｱ)　助成内容　　片道 2,500 円、往復 5,000 円

(ｲ)　助成対象期間　４月１日～３月 31 日（通年）

⑷　広告宣伝

ＦＤＡ機内誌や就航先都市のメディア等を活用し、就航先都市に向けて季節に合わせた観光情報を発信し、認知度向上につながる誘客宣伝事業を実施します。

8　信州まつもと空港利用促進事業（受託事業）

ＦＤＡ福岡線の利用を促進し、主に九州北部からの誘客促進を図るため、福岡のメディア（ラジオ番組）を活用した、信州や松本の観光ＰＲを行います。あわせて、番組内

でリスナー参加型の旅行を企画し、福岡空港発着のツアーを実施します。

9　観光宣伝事業（受託事業）

⑴　海と山との交歓事業

神奈川県藤沢市と松本市の市民（公募）が互いの市を訪問し、観光や地元イベントへの参加を通して姉妹都市交流を図ります。

⑵　印刷物作成事業

観光パンフレット等を作成し、観光・物産イベントで使用するほか、市内観光案内所、銀座ＮＡＧＡＮＯ、県観光情報センター（大阪、名古屋）等で配布します。

インターネットやスマートフォンの普及により、観光情報の入手方法が変化する中で、全てデジタル化（ＰＤＦ等）することにより、アクセシビリティ※を向上するとともに、さらに時流にあった活用しやすい観光パンフレットのあり方を研究し、内容等を見直します。※アクセシビリティ…「誰もが平等に使いやすい状態」を指す言葉で、現在多くの製品やサービスで求められている考え方

作成パンフレット名（予定）	印刷予定部数
通年型総合パンフレット	100,000 部
街歩きマップ	100,000 部
美ヶ原高原散策マップ	40,000 部
上高地散策マップ	100,000 部
まつもと水巡りマップ	20,000 部
イベントガイド	20,000 部

⑶　広告宣伝事業

デジタルを活用した広告配信等、各種メディアを通して、城下町から山岳観光、温泉など、松本の多彩で魅力的な素材やイベント情報等を発信し、誘客につながる効果的な宣伝を行います。

⑷　松本山雅関連事業

サンプロアルウィンでの試合に訪れた対戦チームサポーターを歓迎するため、アウェーゲートに対戦チームのエンブレムをデザインしたのぼり旗の設置やＪＲ松本駅改札口への歓迎看板を掲出します。

10　旅行博出展事業（受託事業）

国内最大の旅行博であるツーリズムＥＸＰＯジャパンに、３つ星街道観光協議会の合同ブースを出展します。2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）開催地での出展となるため、協議会構成団体の特徴、スケールメリットを生かし、効果的なプロモーションを実施するとともに、広域周遊ルートとしての３つ星街道の認知度向上や関西圏から松本市への誘客をさらに促進します。

11　松本市観光案内所管理運営事業（受託事業）

松本市観光案内所（松本駅構内）と松本市観光情報センター（松本市役所大手事務所内）において、窓口・電話・メール等による観光案内、パンフレットの発送等を行います。両案内所とも外国人観光客の案内が可能な「ビジット・ジャパン案内所(通称：Ｖ案内所)」として、積極的に外国人観光客に対応します。

また、各案内所に設置されたデジタルサイネージを活用した視覚的な観光情報等を発信するとともに、入りやすい施設の雰囲気づくりを図るなど、ホスピタリティの向上に努めます。

12　観光ボランティア運営事業（受託事業）

観光客の要望に応じて、市街地の見所を松本まちなか観光ボランティアガイドが案内します。また、各種研修を通じて技術の向上に努めるとともに、ガイドの新規募集を行うなど、幅広い年齢層の参加を促し、組織の活性化を図ります。

Ⅱ　海外誘客事業

1　情報発信事業　≪新規≫

昨年度立ち上げた外国人専門公式ユーチューブチャンネル【Ｃｏｍｅ　Ｔｏ　Ｍａｔｓｕｍｏｔｏ】の認知度をより高めるため、チャンネル内のコンテンツ充実に今年度は集中的に取組むこととし、松本地域の外国籍住民を活用しながら、松本の魅力的な観光地やイベントなどの動画コンテンツを作成し、海外に広く発信します。

⑴　動画作成

ア　松本地域に暮らす外国籍住民を主役とした動画「もしも友人が松本に来たらどこを案内しますか」シリーズを作成（全 12 回）

イ　松本で開催されるイベントなどへの誘客を目的に、開催１カ月前に告知用英文記事を作成（全 12 回）

ウ　善光寺街道や奈川地区、冬の上高地などの動画を作成

エ　「Ｙｏｕは何しに松本へ」をテーマに、松本を来訪する外国人旅行者に対し、どのような目的で来ているのかを聞き取りながら、その様子を撮影し、新しいプロモーションに活用します。

⑵　支援事業

長野県やＪＮＴＯが招聘するユーチューバーやインフルエンサーを支援し、松本の露出を増やします。

2　旅行（体験）商品販売支援事業

過去２年間にモニターツアーを実施した内容の商品化や、販売のための支援（広告宣伝等）を行うとともに、販売実績に応じた内容の変更や磨き上げを行います。

3　海外プロモーション事業

昨年度中止となった高雄市旅行公会国際旅展（台湾、ＫＴＦ2023）に松本市と共同出展し、冬の上高地スノーシュー体験や外国人向け松本城ナイトツアーを宣伝するとともに、繁体字サイクルマップや外国人向け体験チラシを活用したプロモーションを実施し

ます。

Ⅲ　情報発信事業

１　協会公式ホームページの管理

現在の協会公式ホームページが抱える課題の分析と改善を行い、より観光客や事業者に使いやすい、わかりやすいＨＰに改修します。

また、様々な各団体のＨＰで情報発信している現状を見直すため、各観光関連ページとの関わりについて、市との協議に積極的に参画し、検討していきます。

２　観光パンフレットの管理

昨年度新たに「信州松本街歩きマップ」上に協会のインスタグラムとユーチューブのＱＲコードを記載しました。今年度は協会が現在発行しているパンフレットの整理や、可能な範囲で「紙媒体」から「電子媒体」へ移行するなどの検討も行います。

３　「協会ニュース」の掲載

協会公式ホームページで「松本観光コンベンション協会ニュース」を毎月掲載します。同時に、松本商工会議所会報「会報まつもと」にも掲載します。

４　ＳＮＳでの情報発信

昨年度から新たに情報発信担当の専任職員を採用し、各種ＳＮＳでの情報発信を実施しています。今年度は、特に県外や若年層への訴求力向上のため、ユーチューブショートやティックトック、ツイッターといった拡散力の高い媒体を利活用した情報発信を中心に行います。また、各種ＳＮＳでの情報発信が松本への旅行を検討する動機付けとなるよう、ターゲット分析とそれに合致した観光資源の魅力発信を継続的に行い、確かな影響力をもつアカウントとして機能させていきます。

⑴　インスタグラム

共感できる日常の発信と有用性のある情報の発信を行うことで、フォロワーの獲得を目指します。

https://www.instagram.com/matsumoto.tourism/

ア　フォロワー数及び投稿数の数値目標

内容	Ｒ３	Ｒ４（～2/28）	Ｒ５（目標値）
フォロワー数（人）	491	1,893	3,000
投稿数	31	257	240

※Ｒ４は松本市主催「アルプスの城下町に出会う三ツ星旅」周遊スタンプラリーのデジタルプロモーションとして行ったインフルエンサー３名との共同投稿を含みます。

イ　トライ式高等学院松本キャンパスとのコラボ事業

昨年度に引き続き、トライ式高等学院とのコラボ事業として市内の個店を取材し、インスタグラムでの情報発信を行っていきます。また、個店だけでなく高校生の視点で捉えた日常風景なども継続的に発信していくことで、同世代の関心を集めるようにします。

ウ　キャンペーンの実施

協会アカウントの若い世代等への影響力を効果測定できるようなキャンペーンを行い、フォロワーの訴求力向上に努めます。

⑵　ユーチューブ

社会人１年目の担当者が、「様々なことを体験しながら、松本の魅力を伝える」をコンセプトに昨年度始めたユーチューブチャンネル「れいチャンネル」を、今年度も引き続き活用していきます。

旅行者にとって役立つような観光ルートの提案や旬な話題、おすすめのお土産品紹介等を行います。また、上高地や美ヶ原高原といった観光地を取り上げる際には、実際に足を運べない方がそこを訪れた気分になるような動画の作成を目指し、撮影や編集の質の向上を図ります。

https://www.youtube.com/channel/UCqzXyAEfFQukTTKSF3u4f8g

ア　登録者数、投稿本数及び視聴回数の数値目標

内容	Ｒ３	Ｒ４（～2/28）	Ｒ５（目標値）
登録者数（人）	11	493	1,000
投稿本数	1	24	24
視聴回数（合計）	150	24,095	50,000

イ　ユーチューブショートの利用

投稿したユーチューブの切り抜きをユーチューブショートに上げることによって動画を拡散し、チャンネルの認知と登録者数の増を促進します。

⑶　ユーチューブ【Ｃｏｍｅ　Ｔｏ　Ｍａｔｓｕｍｏｔｏ】

主に外国人旅行者に向けた情報を発信していきます。

https://m.youtube.com/channel/UCMTvNDGRXEnXrfOfg76Wvpg

⑷　ツイッター

協会が主体となって実施するツアー情報や松本の「いま」を発信していきます。

https://twitter.com/matsumoto_tca

⑸　ティックトック

若年層への情報発信に活用します。ユーチューブの切り抜きやティックトック用のショート動画を作成し観光の提案などを発信していきます。

https://www.tiktok.com/@matsumoto.tourism

⑹　フェイスブック

案内所ブログとインスタグラムの投稿がフェイスブック上で閲覧可能になっています。日々のイベント情報や旬な話題を発信していきます。

https://www.facebook.com/matsumoto.tourism

5　デジタルサイネージ放映

松本市観光案内所と松本市観光情報センターに設置しているデジタルサイネージ（４Ｋ・55型）で、最新のイベント情報をはじめ、各種お知らせ、季節の映像、松本市の紹介動画等を放映します。

6　財務状況の公開

官報に決算公告を掲載します。また、協会公式ホームページで財務状況を公開し、

経営の透明性の向上を図ります。

Ⅳ　コンベンション事業

１　誘致事業

国内外、規模の大小・ジャンルなどにとらわれないコンベンションの誘致を目指します。また、情報の入手状況に合わせ、スピード感を持って積極的に誘致を図るとともに、中長期を見据えた誘致事業を実施します。

⑴　ＩＭＥ（国際ＭＩＣＥエキスポ　International MICE EXPO）出展事業

日本で唯一の対面式による商談会を行うコンベンショントレードショー「ＩＭＥ 2024」に参加し、松本市のコンベンション環境をＰＲするとともに、大会主催者との商談を通して大会誘致を促進します。

⑵　地方都市コンベンション協議会事業

競合しない７地区（郡山※令和５年度加盟、新潟、岐阜、びわこ、高松、和歌山、松本）のコンベンション推進機関が連携して、各都市への大会誘致を図ります。

ア　主に都内のコンベンション主催者を対象に、プレゼンテーション、意見交換会などを開催します。

イ　学会の連合組織が主催するシンポジウムへの合同ブース出展ならびに会場内での出店学会事務局へのセールス活動を行います。

⑶　国際コンベンション招請事業

ＪＮＴＯなどが実施する事業に積極的に参加し、誘致活動を行います。

⑷　コンベンション誘致促進事業

ア　誘致宣伝ツール作成事業

コンベンション施設や交通アクセス、アフターコンベンション等、大会主催者が必要とする情報を分かりやすく紹介したツールを作成し、誘致と支援に役立てます。

イ　移動用バス支援事業

コンベンション施設及び宿泊施設の移動に伴うバス運行サービスを実施します。特に、コンベンションの実績が落ちる冬期の支援強化策として、支援するバスの台数の上限を拡大して誘致の強化を図ります。

４月～10 月　１大会（上限２台）、11 月～３月　１大会（上限５台）

ウ　主催者下見支援事業

松本市内でのコンベンション開催決定にあたり、主催者が会議施設、宿泊施設、パーティー会場などの下見にかかる費用を支援します。（２人分まで、１人あたり５万円を上限）

エ　集合型・配信サービス併用型コンベンション開催促進事業補助金交付事業

松本市内で開催するコンベンションにおいて 50 名以上の宿泊が見込める集合型と配信サービスを併用（ハイブリッド型）した大会を開催する場合において、地元事業者へ配信機材のリース、サービスの発注を行う場合の費用を支援します。（配信にかかる対象経費の３分の１または上限 30 万円）

⑸　プレゼンテーション・商談会参加事業

ＪＮＴＯをはじめとしたコンベンション推進団体が主催する会議主催者を対象とした事業（プレゼンテーション、商談会等）に参加し、誘致を図ります。

⑹　セールス活動事業

ア　組織内外のコネクション及び調査事業で収集した情報を最大限活用し、コンベンション開催に向けた営業活動を強化するとともに、学会等の事務局の誘致にも取組みます。

イ　過去の営業活動などにより蓄積してきた大会情報データを随時更新するとともに、有効活用して大会誘致につなげます。（地方都市コンベンション協議会の情報共有システムを利用）

ウ　2028 年に長野県で開催される国民スポーツ大会（国民体育大会）に向け、各競技団体がプレ大会として開催する全国大会の誘致について営業を強化します。

⑺　関係機関連携事業

ＪＮＴＯ、ＪＣＣＢ※、中部コンベンション連絡協議会など関係機関との連携を図り、コンベンションに関する情報を収集し、誘致促進を図ります。

※ＪＣＣＢ（Japan Congress Convention Bureau）

⑻　研修事業

ＪＮＴＯ等が開催するスキルアップセミナーなどに参加し、職員の資質向上を図ります。

２　支援事業

主催者に対して、大会の開催をサポートします。参加者を街全体でホスピタリティを持って迎え、松本の魅力を伝えることで、「松本市でもう一度大会を開催したい」「また訪れたい」と感じてもらえるような支援活動を実施します。

⑴　大会主催者への支援事業

ア　開催計画・準備から大会終了後まで、主催者にとって最適なかたちで事業ができるような支援の実施

イ　「松本市コンベンション開催促進事業補助金」の申請手続の支援

ウ　長野県ＭＩＣＥ支援補助金申請に伴う県担当部局との調整

エ　ハイブリッド型学会開催の際に使用する配信機器や感染症対策のサーモグラフィーの貸出

⑵　大会参加者への支援事業

ア　観光文化施設入場券（日本語版・英語版）の発行

イ　手提げ袋（コングレスバッグ）、スポーツイベント用ビニール袋の作製と配布

ウ　松本市内案内出版物（松本周辺案内）の作成と配布

エ　会議開催のトップシーズンに期間限定した飲食店ガイドマップの発行

オ　各種パンフレット作成への協賛と配布

⑶　大会歓迎事業

ア　ＪＲ松本駅東西自由通路（お城口）への歓迎看板の掲出

イ　市内協力飲食店、土産品店、コンベンション施設、宿泊施設、観光文化施設への歓迎ポスターの掲出

ウ　大会参加者に歓迎が伝わる記念品の作製と配布（環境配慮型ペットボトル「松本の水」等）

エ　松本ならではのおもてなしによる歓迎支援

(ｱ)　レセプションにおける松本らしいアトラクションへの補助

(ｲ)　地酒コーナー、バーコーナーの設営補助
(ｳ)　甲冑、法被（特に国際会議）の貸し出し等
オ　会議用備品の貸し出しサービス（プロジェクター、スクリーン、配信機材等）
カ　大型コンベンションの支援
参加者 1,000 名以上のコンベンションへの参加者を歓迎する事業の実施
キ　インセンティブツアーに対する支援
国内外からのインセンティブツアーに対し、参加者へのおもてなしとしてのギブアウェイ等

⑷　大会告知事業
協会公式ホームページの「松本観光コンベンション協会ニュース」内に「コンベンション開催情報」を定期的に掲載し、大会情報を告知します。同時に、松本商工会議所会報「会報まつもと」にも掲載します。

⑸　大会誘致状況
令和５年度以降に開催予定の主なコンベンション
※特記される大会。連続２年以上継続支援している大会を除く。

ア　令和５年度

大会・会議名	日程	会場	参加人数
Ｒｕｂｙ　Ｋａｉｇｉ2023	5/11～13	まつもと市民芸術館	1,200 名
日本リスクマネージメント学会	5/13	ホテルブエナビスタ	350 名
第 147 回日本内科学会 信越地方会	5/20～21	ホテルブエナビスタ	300 名
第 35 回日本内分泌学会 信越地方会	6/15～17	ホテルブエナビスタ	700 名
第 47 回日本遺伝カウンセリング学会	7/7～9	まつもと市民芸術館	1,000 名
中部リウマチ学会	9/14～16	まつもと市民芸術館	700 名
（公財）才能教育研究会国際ティーチャートレーナー会議	10/13～19	まつもと市民芸術館	500 名

イ　令和６年度

第 11 回日本アミロイドーシス学会学術集会	10/18	まつもと市民芸術館	250 名
第 68 回日本新生児生育医学会・学術集会	11/10～12	ホテルブエナビスタ	500 名
第 33 回日本新生児看護学会 学術集会	11/11～12	ホテルブエナビスタ	400 名

Ⅴ　ロケ誘致支援事業

１　誘致事業

⑴　映画、テレビのロケーション撮影を誘致するため、首都圏の映画会社、テレビ局、制作会社などに「ロケ地・松本」の魅力を伝えるとともに、首都圏への誘致セールス活動を積極的に展開します。

⑵　制作担当者・ロケを支援してもらえる方を対象としたロケ公式ホームページ「MATSUMOTO　Location Guide」を更新し、最新の情報を提供します。

２　支援事業

⑴　イメージに合うロケ地の情報提供

⑵　ロケーションハンティング（撮影の候補地選び）の案内

⑶　撮影に必要な許可申請の代行

⑷　撮影する施設の紹介や借用交渉

⑸　宿泊施設や関連事業者の紹介

⑹　エキストラ確保の協力等

３　ＪＦＣ（ジャパンフィルムコミッション）関連事業

⑴　制作会社対象のロケ地フェアへの参加（８月、１月）

⑵　定期総会への参加（６月）

４　誘客促進事業

⑴　映画、ドラマの活用

昨年度松本市内でロケを実施した映画「サイド バイ サイド 隣にいる人」や、ドラマ「グレースの履歴」のほか、「日本アカデミー賞」の６部門で優秀賞を受賞した昨年公開の映画「流浪の月」など、最新の作品や、人気作品などを活用した「ロケ地松本」の認知度向上につなげます。

⑵　ロケ地マップの作成

松本市内の回遊性向上を図るため、新たなロケ地のほか、今秋オープンする松本市立博物館等の旬な情報を盛り込んだ「ロケ地マップ」を作成します。

⑶　情報発信の強化

撮影支援した作品等の情報をロケ公式ホームページ、ＳＮＳ等で発信します。

⑷　その他

国内誘客事業として実施する「ロケ地巡りツアー」造成の調整・実施に協力します。

５　その他事業

⑴　信州フィルムコミッションネットワークへの参加

⑵　近隣フィルムコミッションとの連携（安曇野市・塩尻市等）

Ⅵ　収益事業

１　観光案内所における宿泊斡旋

観光案内所利用者へのサービスの向上を図るとともに、協会の収益を生み出す運営体質への移行を進めるため、市観光案内所（２カ所）で宿泊斡旋サービスを行っています。

２　物品等販売事業

観光案内所窓口等で、観光客のニーズに合ったオリジナルグッズやガイドブック等を取り扱い、利用者サービスの向上に努めます。

３　その他

食や歴史・文化、自然など、松本の豊富な地域資源を活用したツアーなど、収益につながる着地型商品の企画・販売をします。

Ⅶ　その他事業

１　他団体との連携

⑴　市内外で開催されるイベントへの協賛、後援、協力を行います。
⑵　加盟団体と連携し、積極的な誘客宣伝活動を行います。
⑶　国、県及び長野県観光機構、銀座ＮＡＧＡＮＯ、長野県観光情報センター、ながの観光コンベンションビューロー等と協力して誘客宣伝に努めます。
⑷　松本市や安曇野市、塩尻市などの近隣自治体・観光協会のほか、当協会が加盟する広域観光団体との連携を図ります。

２　クレーム対応及び情報の共有化

松本市の観光全般に対するクレームや要望に積極的に対応し、改善に努めるとともに、会員の皆様と情報を共有し観光受入体制のレベルアップを図ります。

３　「あり方検討会議からの提言」を受けた取り組み

令和４年 10 月～令和５年２月に計５回にわたり開催された協会のあり方検討会議から提出された「松本市の観光振興を推進する官民連携のあり方と松本観光コンベンション協会の組織見直しに関する提言」を受け、次のとおり進めます。

現在の市からの受託事業の棚卸しなど、事業の見直しを市と協議を進めながら行うとともに、令和５年度に市が策定する「観光ビジョン」に、市との役割分担を明確化し、さらに協会内においても必要な人材確保・育成、労務管理の充実など、事務局の体制強化に一部先行着手します。